

取材先	下関シェアリングネイチャーの会		
企画名	冬のネイチャーゲーム大会		
備考			
取材日	2024年1月28日(日)天候 [くもり時々雨] [10:00~12:00]	取材地	戦場ヶ原公園

レポート

ネイチャーゲームは自然への『気づき』を目的とした活動で、五感で自然を感じ、自然と自分が一体であることに気づき、心と体で直接自然を体験していきます。下関シェアリングネイチャーの会はその体験の場を提供し、自然とふれあい、環境への理解を手助けする活動をしています。年に4回、季節ごとに開催しています。

この日は冬空の下、小学校1年生から5年生の子どもたちや大人も含めて22名が戦場ヶ原公園に集まりました。最初はノーズゲームで、体の大きさや棲んでいる場所、食べ物などの特徴を表すヒントで生き物をあてるゲームです。途中でわかっていても答えは言わずリーダーの声掛けでみんなで答えを言います。子どもたちは全員すべての答えが分かり、よく学んでいることに興味しました。続いて参加者の背中に生き物のカードを付けて、お互いが1つヒントをもらいながら回って自分の背中の生き物をあてていくゲームや、公園内のあちこちに置かれたカードの中から、リーダーからもらったお題（肉食動物・縄張りをもつ動物など）を探すゲーム、目を閉じて自然の中から聞こえる音を感じていくこと、公園の中にある木の特徴をリーダーが伝え、その木を探したらその木を触るなどして木の特徴を学ぶなどの体験をしました。

石川代表は、このゲームの中でみんなで質問をし、答えを探っていくことでコミュニケーションを学んでいくことやゲームの中で知らないことを学んでいく過程に学びがあると言われました。次回は3月3日(日)綾羅木郷遺跡公園で開催されます。興味のある方は、ぜひお子様と一緒に参加して自然とふれあう体験をしてみたいはいかがでしょうか。



生き物あてゲーム



スタッフのみなさん



石川代表

状況写真



生き物探し



木の特徴を
探す



体験カードに
シール貼り